

日本共産党国会議員団 東海ブロックニュース

2015年
1月21日
リニア特集
第24号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話 〇五二(二六四)〇八三三
FAX 〇五二(二六四)〇八五〇
Eメール tokai@ccp.jp

問題だらけでリニア着工してもいいのか

名古屋西区・学区説明会、本村伸子衆院議員のレポート

JR東海が行政区ごとのリニア事業説明会に続き、自治会などを対象とした学区ごとの事業説明会を開催しています。本村伸子衆院議員も参加して、フェイスブックでレポートしていますので一部を紹介します。

アが通り、リニアの駅ができる地域です。立ち退き、開削工事（駅の中心部の幅は60m、駅の端が最小で25m）も行われる地域です。駅にからなくても浅深度で区分地上権なるものが発生します。

質疑応答では、

◆名古屋高速道路をつくったときは、（工事車両で迷惑がかかるので）地元への補償があった。リニアは？（JR東海）工事車両の補償は考えていない。

◆那古野小学校は、2017年4月1日から廃校になるが、リニア事業に跡地を活用するのか？



1月14日、名古屋市西区の那古野小学校体育館で、リニア事業説明会がJR東海主催で行われ、わしの恵子名古屋市議（県議選予定候補）、地元に住む青木ともこ名古屋市議選予定候補とともに参加しました。那古野小学校のすぐ近くは、リニ

住民から不安の声次々

1月17日、名古屋市西区の江西小学校でJR東海が主催したリニア事業説明会に参加しました。

江西学区の真ん中の道（県道200号）は、1日682台の工事車両が走ります。

私のお隣に座っていた方が、「今でも渋滞しているのにどうなるんだ」とつぶやいていました。

質疑応答では、

◆工程表や補償に関わる部分などの資料がほしい。パワーポイントをみせられるだけでは検証できない。

（JR東海 ホームページに公表し、事務所にきていただければプリントアウトすることもできる。

◆工事用車両の影響で他の道へはどのような影響がでるのか。

（JR東海）時間をいただければデータはあるので別途調べることができる。

◆①今でも道路の継ぎ目で我が家は振動をひろい、親戚の人が家に来ると「地震だ」と言われる。今後、工事用車両が増えるとひどくなる可能性があるので対策をとってほしい。

②土地評価は上がるのか、下がるのか。税金が上がったら困る。（JR東海）①道路管理者との話し合いのなかで今後検討する。②土地の評価は、社会情勢も変わるので、当社では答えることができない。

◆①東南海地震の対策はどうなっているか。②土砂の搬出について臨港線を使えないか。（JR東海）①阪神淡路大震災を機に、抜本的に耐震基準が改善された。

②分散化、時間の関係などで検討させよう。その他に、次のような回答も。（JR東海）区分地上権の地域でも建

物の基礎がシールドにかかる場合は、買取る場合もある。

（JR東海）土地の補償については、『公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱』『公共用地の取得に伴う損失補償基準』に基づき行う。

帰り道、「結局、具体的には何もわからなかったなあ」と参加者の方々がつぶやいてみえました。

「具体的には何もわからない」との感想は、国土交通大臣がJR東海に求めている「丁寧な説明」ができていないことの証拠です。

それにも関わらず工事強行は絶対に許せません！こうした声を無視し、強引に工事着工などさせないためにも頑張りたいと思います。（本村伸子のフェイスブックより）

